

スクーリング・集合研修(介護過程Ⅲ・医療的ケア) 時間割

		講習時間		授業構成		時間別授業構成				
		時限	時間(分)	(教育に含むべき内容)		(到達目標)		授業概要		
オリエンテーション	9:30～10:15	0	45	開講式・オリエンテーション						
	10:25～11:55	1-2	45	介護技術の評価	介護技術の原理原則を習得、実践と共に、知識・技術を総合的に活用した判断力・応用力を評価する	【到達目標1】 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な実践ができる	1 介護福祉士の実技試験とキャリア段位制度			
			45			【到達目標2】 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる(※1)	2 ボディメカニクスの原理・原則			
1日目	9:30～11:00	1-2	45	介護過程の展開の実践	多様な事例を設定し、介護過程を展開させると共に、知識・技術を総合的に活用し分析力・応用力を評価する(※1)	実践者研修過程で学んだ知識・技術を確実に習得し活用できる	1 介護過程Ⅰの復習			
			45				2 介護過程Ⅱの復習			
	11:10～12:40	3-4	45				3 関係する資料から利用者情報を読み解く			
			45				4 ケアプラン(1表～5表)の読み取り方			
	13:40～15:10	5-6	45			知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	5 事例を基にケアプランから利用者情報を読み解く			
			45				6 インテーク・アセスメントの方法			
	15:20～16:50	7-8	45				7 アセスメント情報から利用者像を把握するグループワーク			
			45				8 フェイスシート・アセスメントシートの作成			
2日目	9:30～11:00	1-2	45	"	(※1と同様)	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な計画の立案ができる	1 目標設定の視点と方法			
			45				2 介護計画書・手順書の作成			
	11:10～12:40	3-4	45	介護技術の評価	介護技術の原理原則を習得・実践と共に、知識・技術を総合的に活用した判断力・応用力を評価する(※2)	(※1)と同様	3 介護現場でのボディメカニクス			
			45				4 寝具の整え方(シーツの整え方)			
	13:40～15:10	5-6	45				5 体位・体位交換(床上での水平・上方移動含む)			
			45				6 移乗の介助(一般的な移乗介助)			
	15:20～16:50	7-8	45				7 移乗の介助(体格差のある場合)(スライディングボード含む)			
			45				8 移乗の介助(福祉機器を使用した移乗)(リフト等)			
	17:00～18:30	9-10	45				9 排泄の介助(ポータブルトイレ)			
			45				10 排泄の介助(差し込み便器・尿器)			
3日目	9:30～11:00	1-2	45	介護技術の評価	(※2と同様)	(※1)と同様	1 排泄の介助(おむつ交換・パッド含む)			
			45				2 移動の介助(歩行介助・杖歩行介助)			
	11:10～12:40	3-4	45				3 移動の介助(車椅子での介助)			
			45				4 着脱の介助(椅座位・端座位)			
	13:40～15:10	5-6	45				5 着脱の介助(臥位)			
			45				6 食事の介助(椅座位・端座位・半座位)			
	15:20～16:50	7-8	45				7 食事の介助(臥位)			
			45				8 口腔清潔の介助			
17:00～18:00	0	60	医療的ケアにかかる知識の習得度の評価							
4日目	9:30～11:00	1-2	45	介護技術の評価	(※2と同様)	(※1)と同様	1 入浴の介助			
			45				2 入浴・清潔の介助(足浴・腕部清拭)			
	11:10～12:40	3-4	45		3 清潔の介助(全身清拭)					
			45		4 「起居→排泄」の介助、評価(例)		動き介作左護の記計画演習等作成事例に基づく	介護技術の評価		
	13:40～15:10	5-6	45		5 「臥位→入浴(清拭)」の介助、評価(例)					
			45		6 「起居→通所施設への送り出し」の介助、評価(例)					
	15:20～16:50	7-8	45		7 「椅座位→就寝」の介助、評価(例)					
			45		8 「おむつ交換→バイタルチェック」の介助、評価(例)					
17:00～18:30	9-10	45	9 「椅座位→口腔ケア」の介助、評価(例)							
		45	10 「端座位→食事」の介助、評価(例)							
5日目	9:30～11:00	1-2	45	介護過程の展開の実際	(※3)と同様	介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、多職種、他機関との連携を行うことができる	1 介護現場でのヒヤリハット、自己の対応			
			45				2 ヒヤリハット報告書の作成			
	11:10～12:40	3-4	45				3 モニタリングの視点			
			45				4 6ヶ月後の事例・ケアプラン第5表から経過を観察する視点(グループワーク)、モニタリング報告書を作成する			
	13:40～15:10	5-6	45				5 目標の達成度、利用者の満足度等についてロールプレイ			
			45				6 再計画の目標設定(今後の新たな課題)			
15:20～16:20	0	60	知識等の習得度の評価							
6日目	9:30～10:30	1	60	演習	喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)	医療的ケアを安全・適切に実施する為に必要な知識・技術を修得する	1 口腔内の喀痰吸引(通常手順)			医療的ケアの評価
	10:40～11:40	2	60				2 口腔内の喀痰吸引(通常手順)			
	11:50～12:50	3	60				3 口腔内の喀痰吸引(レスピレーター装着者)			
	13:50～14:50	4	60				4 鼻腔内の喀痰吸引(通常手順)			
	15:00～16:00	5	60				5 鼻腔内の喀痰吸引(レスピレーター装着者)			
	16:10～17:10	6	60				6 気管カニューレ内部の喀痰吸引(通常手順)			
	17:20～18:20	7	60				7 気管カニューレ内部の喀痰吸引(レスピレーター装着者)			
7日目	9:30～10:30	1	60	演習	経管栄養(基礎的知識・実施手順)	医療的ケアを安全・適切に実施する為に必要な知識・技術を修得する	1 経管栄養(胃ろう・腸ろう)(滴下)			
	10:40～11:40	2	60				2 経管栄養(胃ろう・腸ろう)(滴下)			
	11:50～12:50	3	60				3 経管栄養(胃ろう・腸ろう)(半固形)			
	13:50～14:50	4	60				4 経管栄養(経鼻経管栄養)			
	15:00～16:00	5	60				5 経管栄養(経鼻経管栄養)			
	16:10～17:10	6	60				6 救急蘇生法			
	17:20～17:30	0	10				閉講式			

※ 当講座の介護過程Ⅲの研修においては「スクールアワー方式(45分×2回で2時限とみなす)」を用いて実施いたします